

2020Battlax ノブアツ杯 Haruna 車両規則書

1、総合仕様

- 1-1 レース前車検での主催者側の判断には、その解釈のすべてに対し、いかなる場合でも参加者は抗議を申し立てられない
- 1-2 ブレーキは前後にそれぞれ安全で独立した有効なブレーキを備えなければならない
- 1-3 ハンドルは左右一杯に切った時に指を挟まないよう、タンク、カウリング等に間隔を確保する
- 1-4 クラッチレバー、ブレーキレバー、ハンドル変更可能。但しその先端に丸みを持たせること
- 1-5 全クラスサイドスタンドステーの切除が望ましい。また、安全確保のチェーンガードは必ず装着する
- 1-6 ミラー、キャリアは取り外す。スタンドは取り外しが望ましい。ライト、ウインカー、テールランプはテーピングでも可能
- 1-7 カウリング等を外した場合ステーも取り外すか、突起物が無いように処理すること
- 1-8 ドレンボルト、オイル注入口にはワイヤーロックを施す
- 1-9 台数が7台未満の場合、他クラスと混走する可能性がある
- 1-10 走行前にキャッチタンク内の液体は処理しておくこと
- 1-11 排気音は 88db 以下
- 1-12 参加者は革製ツナギ・ブーツ・グローブ、フルフェンスを装着すること
- 1-13 車両規定に反した者は主催者の判断で当該シリーズの次戦に出場停止する処分をすることがある

2、M-50

- 2-1 最低重量はレース終了時マシン+ライダー+フル装備で 125kg を満たす
若しくはバランスウェイトを積まない場合は1周につき10m後方から決勝スタート
- 2-2 排気量は2サイクル50cc以下、ノーマルマフラーを装着する
- 2-3 キャブレターはセッティングインナーパーツ変更、インテークチャンバーの取り外しと処理のみ可能
- 2-4 CDIユニット、ワイヤーハーネスの改造、変更可能。メインスイッチを取り外した場合は必ずキルスイッチを装着のこと
- 2-5 スプロケット、チェーン、チェーンサイズの変更可能
- 2-6 スパークプラグ、プラグキャップの変更可能
- 2-7 キックの取り外しは可能
- 2-8 カウリング類の材質変更、取り外しは可能。但し総合1-7を満たしていること
- 2-9 ブレーキレバー、パッド、シューの材質ブレーキオイル、ホース、バンジョーボルトの変更は可能
- 2-10 各メーター、メーターケーブル、スピードメーターケーブルの駆動ギアの改造変更、取り外し可能
- 2-11 バッテリー、コイルの取りはずしは可能
- 2-12 ステアリングダンパー取り付け可能。但しストッパーとの併用は不可
- 2-13 エアークリーナー及びボックス、エレメントの改造変更、取り外しは可
- 2-14 2サイクル車のオイルポンプ取りはずし可能
- 2-15 アクセルワイヤー、グリップ、トップブリッジ変更改造は可能

3、HRC トロフィー

- 3-1 HRC トロフィーの規則を準拠し本特別規則に従って開催される
- 3-2 HRC トロフィーの規則を準拠し年齢によるクラス分けで開催される
- 3-3 出口直径 10 mm のバッフルを装着すること

4、体験クラス

- 4-1 ポケバイ、74、Kids バイク、1 周 60 秒以上のライダーで争うものとする
- 4-2 本クラスは初心者を対象としたクラス。子供はもちろんご父兄の参加も受け付ける

5、GAG、モンキークラス

- 5-1 50 cc未満 10 インチ以下の車両で行う
- 5-2 安全基準を守っていれば改造自由。88 dB以下にすること
- 5-3 マシン性能差がある場合はハンデを付ける場合もある

6、シニアオープン/ジュニアオープン/FOA(フレッシュマンオープン A)/FOB/FOC

- 6-1 155cc 以下の車両で改造制限無し。但し音量は 88db 以下厳守
- 6-2 FOC→55 秒以上、FOB→53 秒以上、FOA→50 秒以上
ジュニア 48 秒以上、シニアは 48 秒未満のライダーの参加を受け付ける。
練習・予選で基準タイムを切った選手はタイム相当のクラスで決勝を走る。また決勝中に基準タイムを下回ると
1 度目⇒7 秒のペナルティー、2 度目⇒ピットストップ（コースインはマーシャルが安全と判断した時）
- 6-3 エンジンを改造（ハイカム、ボアアップ等）してある車両は必ずオイル受けを装着すること
- 6-4 スリックタイヤの使用はシニア、ジュニアオープンのみ使用を許可する
その場合タイヤウォーマー、レインタイヤの準備を強く勧める

7、SS125A/B

- 7-1 4 ストローク 125 ccで争うものとする。A クラス 50 秒未満 B クラス 50 秒以上とする
- 7-2 スリッパークラッチ、軽量フライホイール NG リアサス変更 OK
フロントフォーク変更 NG 但しスプリング、シートパイプ変更・加工 OK
イニシャルアジャスター、スタビライザー追加 OK
ブレーキユニット変更 NG 但しパッド、ホースの変更 OK
ECU セッティング、エアークリーナーBOX 変更 OK ファンネル追加 OK
ハイスロ、ステップ、ハンドル、カウリング、チェーン、プラグ、スプロケット交換・変更 OK
スリックタイヤ禁止
- 7-3 マフラー交換可能。ただし出口径 14mm 程度のバツフル装着。88 dB厳守
- 7-4 シフターはメーカー純正品の取り付けを許可する
- 7-5 クーラントを排出するホースにはキャッチタンクを必ず装着する事
- 7-6 ミラーは取り外し、ウィンカー、ライト、ブレーキランプには飛散防止のテーピングをする事
- 7-7 SS125B は GSX-R125 カップとの混走を予定

8、Kids50・70

- 8-1 2 サイクル、4 サイクル問わず 50cc もしくは 70cc で 10 インチ以下の車両を用いる（GRF、DR-Z、TT-R、QR、PW 等）
- 8-2 装具含 40kg 以上のライダーは 70cc 以下で 10 インチ以下の車両とする 例：DR-Z70 など
- 8-3 変更・改造可能なものは以下のモノとする
スプロケット、チェーン、ハンドル、サスペンション、ステップ、サスペンション

9、GSX-R125 カップ

- 9-1 スズキ GSX-R125 を用いた 50 秒以上の入門クラスとする
- 9-2 改造範囲は SS125 と同等とする